



岡山県立笠岡高等学校

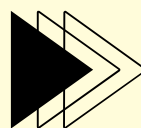
夢に向かって はばたけ千鳥



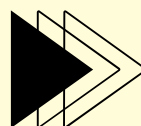
学校紹介

笠岡高等学校は120年を超える歴史と伝統を持ち、古くから「千鳥」の愛称で知られ、地域の皆様に親しまれています。普通科進学拠点校として地域の期待や信頼に応えつつ、伝統の教育を継承発展させています。学習はもちろん、部活動や行事にも全力で取り組むことができます。

本校
ホームページは
こちら



本校
instagramは
こちら



令和7年度に発行する市議会かさおかの表紙作成を市内の4つの高校にお願いしています。今回の市議会かさおか第186号は、笠岡高等学校に表紙を作成していただきました。表紙作成にご協力いただき大変ありがとうございました。

開催します！

議会報告会

今年度の議会報告会は、高校生の皆様と各種団体を対象にして、「意見交換会」形式で開催します。全議員が一堂に会し、ご意見をしっかりお聴きできるように努めてまいります。

(注) 市議会かさおか 185 号 13 ページでお知らせした内容は変更になります。

友好都市 島根県大田市議会の議員の皆様が 笠岡市へ行政視察にいらっしゃいました

令和 7 年 9 月 29 日～ 30 日

常任委員会の現状と課題について意見交換を行いました。また、市内各施設を視察されました。



認知症 VR 体験をしました

令和 6 年 1 月 1 日に「認知症基本法」が施行され、「認知症になっても暮らしやすい地域づくり」が推進されています。笠岡市議会議員は認知症当事者への理解を深めるために、VR システム機材を活用して認知症 VR 体験をしました。

令和 7 年 10 月 2 日



認知症当事者の
不安な気持ちを
理解できました！

認知症当事者が混乱している時は、
寄り添って、落ち着くまでしっかり
待つことが大切だと感じました。



笠岡市の未来のために要望しています

9月定例会では、令和6年度笠岡市一般会計等の決算の審査を行いました。

審議の結果、「議案第69号 令和6年度笠岡市一般会計歳入歳出決算ほか5件の決算認定について」は認定し、4件の要望事項を付けることになりました。要望に対して市がどう取り組んでいるかは定例会ごとに進捗状況として報告してもらい、議会がチェックしています。



「ふるさと納税推進事業」について

ふるさと納税による寄附額のうち、返礼品の米に対する寄附額が大きな割合を占めており、米農家の方にも協力をいただいている現状があるにもかかわらず、寄附する際に寄附者が指定できる寄附金の活用事業の中に米農業の振興に関するものがない。

寄附金の活用事業に農業振興に関する事業を加え、米農家の支援にも資する事業としていただきたい。

「空き家バンク事業」について

本市の空き家バンク事業は、他市からも高評価を受け実績がある。

若い人たちをターゲットにした事業とリンクさせ、部署の横断的な対応により若い人たちの入居や支援策を推進していただきたい。

「臭気対策事業」について

国の事業でもあった笠岡湾干拓地内の酪農・畜産に起因した臭気対策の財源として、国庫支出金がないことは問題である。臭気対策は、市民の生活環境を整えるということにおいても重要である。

国に対し必要な財源の確保を強く求めていき、より積極的な臭気対策ができるよう働きかけをしていただきたい。また、より実効性のある対策を行うために、本市への移住・定住や土地購入を検討する際、臭気を与える影響などについて様々な角度から調査を行った上で、デメリットの数値化をしていただきたい。

「小学校でのAI教材活用」について

小学校でのAI教材活用は、学習意欲向上や基礎学力定着等に効果があるとされている。

AI教材活用で上がった効果を定量的かつ具体的に検証していただきたい。



議案第 66 号 笠岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について

✓ 指定ごみ袋の配布枚数と容量見直し 対象：1～2人世帯

世帯構成によって多くのごみ袋が配布されることとなり不公平感が生じていることから、世帯間の公平性を確保し、ごみの減量化を進めるため、ごみ袋の配布枚数と容量見直しを行います。

無料配布（1年間）

変更後（R 8. 4 から）			変更前（現行）		
区分	枚数／容量	総容量	区分	枚数／容量	総容量
1人世帯	70枚／20リットル	1,400リットル	1～2人世帯	70枚／30リットル	2,100リットル
2人世帯	90枚／20リットル	1,800リットル			

✓ NEW 新たに可燃 10 リットルの指定ごみ袋を導入 対象：全員

より小さい容量のごみ袋を求める声があることから、新たな規格を導入します。

くらしのお役立ち情報

①可燃用指定ごみ袋を他の容量に無料交換できます。

笠岡市環境課または、島しょ部出張所に無料配布分の可燃用指定ごみ袋（未開封 10 枚単位）を持っていくことで、他の容量の可燃用指定ごみ袋と無料交換（等量以下）ができます。

例（R 8. 4 から）

世帯人数	交換前（無料配布分）	交換後
1～2人世帯	20リットル10枚（1袋：200リットル）	10リットル20枚（2袋：200リットル）
	20リットル30枚（3袋：600リットル）	30リットル20枚（2袋：600リットル）
3人以上の世帯	30リットル10枚（1袋：300リットル）	10リットル30枚（3袋：300リットル）
	30リットル30枚（3袋：900リットル）	45リットル20枚（2袋：900リットル）

※現在も10リットル以外の容量であれば無料交換ができます。

②無料配布分の可燃用指定ごみ袋を使い切った場合などは有料で購入できます。

有料で購入する場合

変更後（R 8. 4 から）			変更前（現在）	
10リットル	1枚	30円		
20リットル	1枚	50円		
30リットル	1枚	70円	20リットル	1枚 50円
45リットル	1枚	100円	30リットル	1枚 70円
			45リットル	1枚 100円

補正 予算

議案第 57 号 令和 7 年度笠岡市一般会計補正予算（第 3 号）

9 月の補正予算では、総額で 1 億 7, 4 4 3 万円の追加となりました。

◇おもな追加予算◇



✓ 保育料・副食費の補助

2, 6 2 8 万円

物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯の生活を支援するため、保育所、認定こども園等の 3 歳未満の保育料と、3 歳以上の副食費を、5 か月間無償化します。

【実施期間】令和 7 年 11 月から令和 8 年 3 月

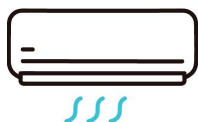


✓ 集会所の省エネ化補助



6 4 0 万円

電気料金高騰の影響を受けている住民自治組織を支援するため、集会所の既存設備（照明・空調設備）を省エネ化するために必要な経費を補助します。



✓ 道路の修繕

2, 7 9 0 万円

労務単価の上昇などによる工事単価の増加や、早急な対応が必要な修繕が数多く発生しているため、事業費を追加します。



✓ Jアラートの新型受信機設置



4 4 0 万円

全国瞬時警報システム（J アラート）のシステム更新が実施されるため、システム更改に対応可能な新型受信機を設置します。

ひと目でわかる審議結果



全会一致で可決した議案

議案	
議案第56号	令和7年度笠岡市一般会計補正予算（第2号）
議案第57号	令和7年度笠岡市一般会計補正予算（第3号）
議案第58号	令和7年度笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計補正予算（第1号）
議案第59号	令和7年度笠岡市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第60号	令和6年度笠岡市水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について
議案第61号	令和6年度笠岡市下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について
議案第62号	令和6年度笠岡市病院事業会計の決算認定について
議案第64号	笠岡市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例について
議案第65号	笠岡市上下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例について
議案第66号	笠岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
議案第67号	動産の買入れについて
議案第68号	笠岡市教育委員会委員の任命同意について
議案第70号	損害賠償の額を定めることについて（その1）
発議第5号	市長の専決処分事項の指定についての一部改正について
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について

賛成・不賛成の分かれた議案

賛成○ 不賛成●

会派		創政みらい							讃志会				みんなの笠岡		いぶき		公明党		諸派		
議員 議案	賛成 ： 不賛成	天野 喜一郎	仁科 文秀	桑田 昌哲	大月 隆司	山下 恭司	宮崎 秀夫	村上 太志	大山 盛久	奥野 泰久	山本 聡	西山 博行	真鍋 陽子	守屋 基範	数田 誠二郎	藤井 義明	妹尾 博之	齋藤 一信	大本 邦光	井木 守	加藤 義久
請願第7号 「日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める」意見書採択を求める請願	5：13 不採択	●	●	●	議長 欠席	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●
議案第63号 笠岡市個人番号カードの利用に関する条例の制定について	18：1	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第69号 令和6年度笠岡市一般会計歳入歳出決算ほか5件の決算認定について	18：1	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第71号 （仮称）篠坂パーキングエリアスマートインターチェンジ設置に係る工事等委託に関する細目協定の締結について	18：1	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※議長は地方自治法第116条第2項の規定により、採決に加わることはできません。

代表質問

代表質問は、会派を代表した議員が市政運営や主要課題など
市政全般について方針や課題、成果を問うものです。



いぶき

質問者

せのお ひろゆき
妹尾 博之

所属議員

ふじい よしあき
藤井 義明

島しょ部における
行政サービスの
維持・確保について

フェリー化についても議論、検討
していきたい。

質 し尿収集船（環境課）、スク
ールボート（教育委員会）、救急
艇（消防組合）、この3つを分散

質 1つの島の人口が50人を下回
った場合の離島振興について尋ね
る。

管理・運営しているが、一括外部
委託の検討について尋ねる。

答 国や県などの関係機関と協議
を行って必要な財源を確保しなが
ら、島民の生活に必要な施設整備

答 昨今の物価高騰による修繕費、
燃料費の高騰や船員を含めた人員
確保など、それぞれが様々な課題
に直面しているため、今後委託も
含めて検討していきたいと考えて
いる。

質 離島振興施策について尋ねる。

質 公共交通における普通船のフ
エリー化について尋ねる。

答 今後、持続可能な離島航路の
確保を目的として、新たな航路改
善計画の策定に着手していく予定

答 交流人口を増やすために、島
の魅力をまずは市内の陸地部の
方々が知って、それを発信できる
ような施策を考えていきたい。

なので、その過程の中で普通船の



公明党

質問者

さいとう かずのぶ
齋藤 一信

所属議員

おおもと くみつ
大本 邦光

笠岡湾干拓地の

臭気対策について尋ねる

質 笠岡湾干拓地の臭気対策について、技術提案の窓口の一本化、評価委員会の設置、試験導入の創設、結果の公開について尋ねる。

答 本市の臭気の問題は、市街地に近い干拓地に1万頭を超える牛が飼育されており、飼育方法の違う16の畜産事業者があるという全国的に見ても非常に珍しい事例であることや、臭気の発生原因や要因が多岐にわたるため、それぞれの課題に応じた適切な専門家の意見を求める必要がある。成果の提示は、客観的な評価基準の設定、現状の把握及び評価の実施が必要であると考えており、まずは現状を把握するための臭気の見える化に着手していきたいと考えている。

現在の財政健全化の

進捗状況について尋ねる

質 財政健全化と持続可能な行政運営について尋ねる。市の財政健全化プランの具体的な進捗、効果見通し、将来計画への影響について尋ねる。現在の財政健全化プランの進捗状況とその見通しについて尋ねる。

答 財政健全化プランの進捗は、初年度の年度途中ということもあり、具体的な進捗や効果等を数値で示せるような段階にまで達していない。あらゆる項目の見直しを着実に実行に移してるところである。こういった取組により、プランの目標どおりの効果を出すことで財政調整基金は積み増しされ、財政状況も改善するものと考えている。



笠岡市における

観光振興について

質 今後、どのようにして観光客数を維持・増加させていくのか、第8次笠岡市総合計画での基本的な方針を尋ねる。

答 戦略に基づいた方向性や枠組みを定め、事業者や地域住民の調整や連携に向けた橋渡しをすること、地域が町を知り、地域を訪れる人の創出につながるまちづくりを進めていく。

質 観光客を引きつける費用対効果の高い新たな戦略とは何か。

答 人流データ分析ツールにより、本市に訪れる観光客の周遊パターンや来訪地ランキング等のデータを道の駅を拠点とした市内周遊や笠岡諸島への誘客に活用したいと考えている。



讃志会

質問者

にしやま ひろゆき
西山 博行

所属議員

 おおやま もりひさ
大山 盛久
おくの やすひさ
奥野 泰久
やまもと さとし
山本 聡

笠岡市の教育DXについて

質 目指すべき笠岡市の教育DXの具体的なビジョンを尋ねる。

答 教育DXの可能性を十分に生かし、学習指導の効果を高めつつ次世代型の校務支援システムの導入等を通じてさらなる業務の効率化を図り、教職員が子供と向き合う時間を最大化しながら「たい」があふれる学校教育を推進したい。

質 教員が研修に参加しやすい環境整備や教員同士が学び合えるプラットフォームの構築など、具体的な支援策を尋ねる。

答 クラウド上に共有フォルダを作成し、情報共有がしやすい体制の整備を行い、情報交換や実践例の共有を進めることで、教育活動の質の向上につなげている。



みんなの笠岡

質問者
もりや もとのり
守屋 基範

所属議員
まなべ ようこ
真鍋 陽子
やぶた せいじろう
藪田 誠二郎

笠岡湾干拓地の
魅力化について

魅力化について

地域の魅力化について

質 臭気対策チームについて、令和2年の市民や専門家で構成していたチームではなく、なぜ今さら市の職員チームを作ったのか。

答 アイデア出しなど実働に主眼を置いている。

質 専門で臭気に特化した職員の育成、専門家の採用も視野に入れた臭気への対応が必要では。

答 機器で臭気の基準が示せる方法を検証中である。

質 これまでの検討結果に基づいた取組が必要ではないか。

答 臭気報告アプリについて、AIを搭載して臭気予測を行い、それを参考に作業を行ってもらおう。

質 機能していない地域担当職員制度、地域を熟知した協力隊OBを活用して研修を進めてはどうか。

答 極めて重要であり、有効であると考えているので参考にします。

質 まちづくり協議会予算の財政健全化での検討は令和7年に行う旨を聞いているがどうか。

答 国の集落支援員制度を活用して事務局の人件費を国の交付金を活用して補助財源を確保した。

質 財源確保より、持続可能な地域づくりのための指導が急務では。

答 地域の横の連携を取りながら市としての方向性は必要。現場で膝を突き合わせて対話を進める。



スマホなどで議会生放送をご覧ください

現在、笠岡放送（株）にご協力いただき、CATVの11ch行政（地デジ112ch）で議会生放送をご覧くださいますが、地域情報アプリ「ゆめのわ」をダウンロードすることで、スマホなどから議会生放送をご覧いただけるようになります。

※議会生放送の約1か月後に録画放送もご覧いただけます。

会員登録不要で、
ダウンロードから議会生放送を見るまで1分でできます！

ダウンロードや
くわしい視聴方法は
こちらから →



個人質問

個人質問は、議員個人が日常活動と調査・研究、市民の皆様の声や自身の考え方をもとに、市政全般について方針や課題、成果を問うものです。

質
問
者

桑田 昌哲
くわだ まさあき



公共施設の
管理運営について

質 市が賃貸契約を結んでいる耐震化が行われていない建物について、契約件数及び契約更新の考え方を尋ねる。

答 市が貸付契約を締結している普通財産のうち、耐震化が行われていない有償貸付けの建物は6件ある。これらの建物は、解体されるまでの間の有効活用を趣旨として貸付けを行っているため、市として積極的に建物の維持管理や修繕を行う考えはなく、耐震化工事を行うことも考えていない。契約の更新に当たっては、大規模修繕や倒壊の危険性などが見込まれる場合には、貸付けを更新しない。

質 耐震化が行われていない建物が安全管理上使用できなくなったら、笠岡市として、別の建物で笠

岡版インキュベーション、人材育成を支援できれば新たな人材の確保や企業誘致が進められると考えるがどうか。

答 本市でインキュベーションセンターのように事業者を集めて新しいアイデアが生まれる施設については、今後検討していきたい。

質 神島、大島海岸沿いと道の駅笠岡バイファームまでのトイレ整備の進捗状況について尋ねる。

答 トイレの新規整備を検討したが、昨今の建築費の高騰や維持管理費、利用実態を踏まえ、基本的には公共施設や民間事業者の店舗等の協力を得ながら、既存のトイレを利用していただく方向へ見直しを行いたいと考えている。



質 問 者

おやま もりひさ
太山 盛久



荒廃農地と
耕作放棄地について

質 荒廃農地と耕作放棄地の活用
の方法について、本市の考えを尋
ねる。

答 基本的に農地として再生され
活用されることが望ましいと考え
ているが、農地が不整形であるこ
とや傾斜地に存在するなど、条件
の悪い農地では農家の負担が大き
いことや担い手が不足しているこ
となどにより、耕作放棄地が増加
していると考えている。地域が共
同で農地を維持する活動に対して、
多面的機能支払交付金や中山間地
域等直接支払制度を活用して財政
的な支援を行っている。

空き家、それに附属する
土地について

質 現在、本市において相続放棄
されている物件数と解決方法につ
いて尋ねる。

答 令和7年4月現在、相続人不
存在の土地が446筆、家屋が80棟あ
り、そのうち、相続放棄によるも
のは、土地が400筆、家屋は64棟あ
る。また、相続人不存在の固定資
産税・都市計画税の税額は令和7
年度現在で約133万円となっている。

答 売却可能な資産は数箇所しか
なく、相続財産管理・清算制度の
活用が難しい状況であるため、市
民が安心して安全な生活をするため
に、資産価値がなく売却できない
所有者不明の土地、建物の解決が
図られるよう、国に対しての働き
かけを検討したいと考えている。



質 問 者

やまもと きさとし
山本 聡



デジタル社会に向けた
取組について

質 庁内で進めている環境整備に
ついて尋ねる。

答 庁内のデジタル化の進捗は、
資料のペーパーレス化やリモート
会議の実施、マイナンバーカード
を利用した転出、転入届や児童手
当等の現況届などができるぴった
りサービス、公式LINEを活用
した電子申請システムの導入、マ
イナンバーカードを利用した申請
書記入サポートシステム、補助金
支給の際の滞納照会システムの整
備などが挙げられる。



地域文化の
醸成、育成について

質 笠岡市が主催する文化事業に
ついて尋ねる。

答 本市出身の作家、木山捷平の
優れた業績を顕彰する木山捷平文
学選奨をはじめ、市文化祭、芸能祭
菊花展などがある。特に木山捷平
文学選奨短編小説部門は、全国規
模の文学賞として注目されており、
本市の文化振興を象徴する事業と
なっている。

質 8月15日の日本経済新聞のコ
ラム欄に木山捷平の「大陸の細道」
が自身の戦争体験小説として紹介
されたが、読んでみてはどうか。

答 機会があれば読んでみたい。

質 地域再生の核となる組織の在
り方について尋ねる。

答 従来の体制にとらわれず、地
域の特性や課題に応じて柔軟に対
応していき、地域を守っていく。

質問者

仁科 文秀
にしな ふみひで



ぜひとも生活不安を抱えた
市民に寄り添う笠岡市に

質 地域で楽しみにされている敬老会を実施するために必要な名簿を出さないのはなぜか。

答 事業見直しにより、敬老会は市の委託事業ではなくなった。民生委員・児童委員は特別職の地方公務員なので必要な個人情報提供を提供する。地域には個人情報観の観点から対象者名簿は渡していない。

質 地域に住むところがない精神障害者はやむなく5年、10年の入院を強いられる。本市ではどのようなサポートをしているか尋ねる。

答 精神障害者のグループホームは市内でも不足している。ニーズを的確に把握し整備に取り組む。

歴史、文化の振興は郷土愛を
育み本市を発信し続ける

質 小学3、4年生の社会科副読本に茅原基治船長を掲載できないか。また、道徳教材で取り入れることはできないか。

答 学習指導要領の改訂を機に内容の見直しを行うので、茅原船長を紹介したいと考えている。道徳は協議したい。

質 茅原船長と杉原千畝の偉業を比較して全国へ発信できないか。千畝は存命中に偉業がわかったが、茅原船長は亡くなってから69年後に偉業がわかっており、ドラマ性もある。市のホームページに笠岡放送の過去のニュース映像や外の映像、音声を取り上げられないか。

答 テレビのニュース映像は著作権上の問題があり難しい。外に映像や音声などを生かした発信方法を今後考えていきたい。



質問者

藪田 誠三郎
やぶた せいじろう



笠岡市の
『福祉の増進』について

質 福祉の増進について本市ではどのように考えているか。

答 地方自治法には、住民の福祉の増進を図ることを基本として地域における行政を主体的かつ総合的に実施する責務を規定している。また、住民福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を上げるようにしなければならぬことを規定している。地方自治法を遵守し、財政健全化プランを着実に実施し、持続可能なまちづくりを推進する。

質 本市が行う全ての政策、公共施設、職員、市議会議員に至るまで、全てが福祉の増進、つまり笠岡市民の幸せのために存在する。本市が財政難という理解は進む中、地域住民は受け入れるしかない現状

があるが、もっと未来への展望、希望となる明確な情報を市民にわかりやすく示せないか。

答 本市の財政は厳しい状況ではあるが、凍結したハード事業の凍結解除も検討しており、今後の展望は中期財政見通しの中でお示しできると思っている。今後、広報やホームページなどで、できる限り市民の方に説明をしていく。

笠岡市の『祭り』について

質 笠岡市の重要無形民俗文化財、地域の祭りについてどのようにサポートをしているか。

答 重要無形民俗文化財は、様々な補助金のサポートがある。地域の祭りは、相談に応じた支援を行っている。SNS発信などにより、祭りが盛り上がり、地域活性化につながっていければと考えている。



質問者 真鍋 陽子



投票率の向上、
選挙事務におけるなり手不足、
施設整備等について

質 ①投票率向上に向けた新たな取組は。②全国的になり手不足の状況が続く投票立会人の確保について。③オンライン立会について。④笠岡市民体育センターにおける開票作業について。

答 ①空調設備のない投票所を解消、投票所までの移動支援、移動期日前投票所を検討していく。②笠岡市においても立会人の確保に苦慮している。18歳を迎えた高校生の起用については今後検討する。③現在のところ導入を考えていない。④笠岡市民体育センターには空調がないため、開票に従事する職員、立会人は過酷な環境の中で職務に従事している。開票所を空調設備の整った施設に変更することとを視野に入れ、課題を洗い出す

など調査分析を進めていく。

人口減少下における
新たな地域課題について

質 ①令和6年度出生数126人の原因は。②将来的な人口予測、今後の広域連携、市町村合併の動きなどを推測した上で、本市にとっての身の丈にあった新市庁舎建設とは。子供たちや市民と共に考えるワークショップなどを行えるか。③JR西日本山陽本線岡山駅発金光駅止まりの電車を笠岡駅止まりにできないか。

答 ①若年人口の減少、未婚化、晩婚化の進行が大きく関係しているのではないかと。②本市の人口規模や財政状況を考慮し、機能的、効率性、経済性を重視する視点で検討する。ワークショップ等開催については考えていきたい。③岡山駅発金光駅止まりの電車についてだけでなく、様々な要望や利用者の声をJR西日本に伝えていく。



質問者 井木 守



公共サービスの利用は
市民の権利

質 いきいき交流センターの入浴施設の廃止で利用者の一部は「健康で文化的な生活」ができなくなる。入浴施設は維持すべきだ。廃止の場合の代替措置は検討しているか。

答 自宅に入浴施設のない人については、例えば市の体育施設のシャワー室の利用なども視野に入れながらしっかりと協議していきたい。

質 公共サービスの利用は、市民の権利であり、市の財政事情などの都合ではなく、市民の権利行使の観点から使用料や手数料は検討すべきだ。手数料の見直しでなぜ、受益者負担率100%なのか。

答 原価には消耗品費や人件費などを含めている。公平性の観点か

ら受益者負担率を100%とした。

リサイクル中心の
ごみ処理行政に

質 12月から製品プラスチックのリサイクルがはじまるが、プラスチック新法はどういう法律か。

答 プラスチック新法は、プラスチック製品の設計から廃棄、リサイクルまで資源の循環を促進する法律で、100%プラスチック素材でできている製品がリサイクルの対象となる。

質 リサイクル中心のごみ処理に変えるべきだ。法律の趣旨など市民への周知はどうするのか。

答 11月から市内各所で説明会を開催する予定であり、広報かさおか12月号で周知記事を掲載する。ごみの再資源化、リサイクル化を図る市の姿勢も説明したい。



総務文教委員会（令和7年7月23日～25日）

1日目 移住・定住促進の取組（神奈川県寒川町）

寒川町では、人口の減少・地域の衰退を食い止めるために、ブランドスローガンの策定やSNSの活用などによってまちの魅力と認知度を向上させることで、移住・定住の促進を目指しています。その結果、平成27年から令和4年度の間、人口増加を実現しています。

どう感じた？

- ・古くから地域に根付く「穏やかさ、やさしさ、あたたかさ」といった精神的な価値（マインドバリュー）をブランドスローガン『「高座」のこころ』として採用しており、こころのつながりと安心を生むことで、他市町との差別化を図っている。
- ・SNSの活用を担う課に8名の職員を配置しており、まちのアピールを積極的に推進することで、「寒川町はいいまち」を体現している。



2日目 公共交通の取組（茨城県行方市）

行方市では、平成19年の鹿島鉄道廃線の影響を受け、接続していた民間路線バスの減便・撤退が相次いだため、市営路線バスや広域路線バス、デマンド型コミュニティバス、夜間送迎応援タクシーといった方法で移動手段を確保しています。

どう感じた？

- ・行方市の面積は約166㎢と本市の約136㎢と比べてやや大きい程度だが、様々な公共交通機関が運行されており、移動手段確保に積極的なまちである。また、公共交通の市民ニーズと利用実態に合わせて、最適な方法と路線を作り上げるためにスピード感をもって取り組んでいる。



3日目 地域公共交通の活性化施策（国土交通省）

全国の人口減少や高齢化、運転手不足を背景に、国は民間主体の交通政策から、自治体が主体となって住民や事業者と連携する形へと政策を転換しています。本市の公共交通の現状と課題を報告し、課題解決の方法について説明を受けました。

どう感じた？

- ・将来的に公共交通の利便性の維持・向上を図るためには、まちづくりの観点から検討していくことが必要になる。
- ・公共交通の運転手不足解消には、国の財政支援や予算の確保による事業者の経営安定が必要不可欠である。



京都市洛西竹林公園

1日目 市営住宅の空き住戸を若者・子育て向けに活用する方法（京都府京都市）

京都市では、市営住宅の空き住戸を民間事業者の資金とノウハウでリノベーションし、若者・子育て向けに手ごろな家賃で貸したり、若手の芸術家へ入居を促し、一つの住宅がクリエイターだけの団地があるなど、市営住宅の空き住戸の利活用を推進しています。

どう感じた？

・京都市の例では、市営住宅が本来の目的以外で利活用される場合が出てくるが、地域での問題が生じることのないよう、地域住民への説明がしっかり実施されている。本市でも市営住宅の利用を高齢者や単身者、所得が一定以下の人などに限らず、利用のニーズに合わせた利活用を検討していく必要がある。

2日目 スマートインターチェンジ開通で企業誘致（静岡県浜松市）



浜松城

浜松市では、舘山寺スマートインターチェンジを整備（平成31年開通）することで、観光振興による地域活性化や災害時の救援・復旧活動の迅速化、物流網の強化による地域産業の活性化などの多くの効果を期待しています。

どう感じた？

・浜松市は、スマートインターチェンジ開通前から、市が主体となって周辺土地利用などの検討を行い、企業進出の足がかりをつくり企業誘致を行っている。本市では現在、企業が企業進出等の計画を行っているが、先に市としてのプランや整備計画を作成した上で企業誘致を行っていけば、土地利用がスムーズになると考える。



豊橋わレーうどん

3日目 空き家相談の窓口設置（愛知県豊橋市）

豊橋市では、空き家対策として令和7年1月から無料の「空家相談窓口」を設置しています。この窓口では専門アドバイザーが空き家所有者と民間業者をつなぎ、解決までの道筋を提案することで、空き家問題の解消につながることを期待されています。

どう感じた？

・笠岡市は「空き家バンク」制度があるが、市役所内だけで対応しており、取組に限界があると考え。豊橋市の「空家相談窓口」のように、相談内容を整理し、解決に導くことができる専門のアドバイザーを活用することで、本市の空き家が減少すると考える。

・人口減少はどこのまちも同様の課題である。適材適所を考え民間事業者などへの協力を検討するべきだと考える。

12月定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
	12/1	2	3 ・ 本会議初日 (議案上程ほか)	4 ・ 本会議2日目 (個人質問)	5 ・ 本会議3日目 (個人質問)	6
7	8 ・ 本会議4日目 (個人質問)	9 ・ 本会議5日目 (諸議案質疑以下) ・ 予算決算委員会	10 ・ 総務文教委員会 ・ 総務文教委員会協議会	11 ・ 厚生産業委員会 ・ 厚生産業委員会協議会	12	13
14	15	16 ・ 議会運営委員会	17 ・ 本会議最終日 (委員長報告ほか)	18	19	20

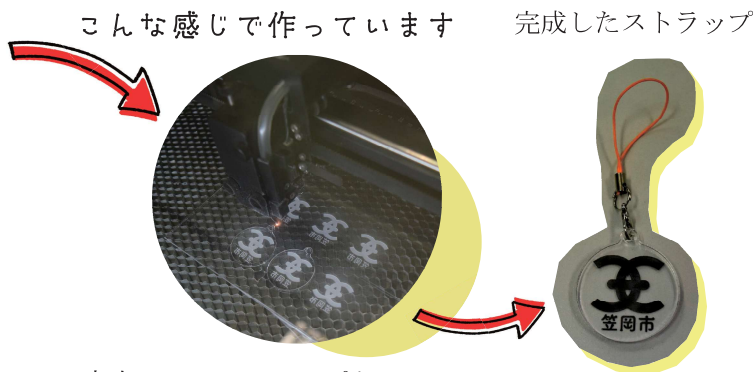
※赤字の会議は生放送予定です。日程は11月27日の議会運営委員会で決定します。会議は各日とも9：30から開始します。

笠岡工業高等学校へ感謝状を贈呈しました

年4回発行する市議会かさおかの表紙作成を、令和7年度は市内の高校にお願いしています。
8月1日に発行した市議会かさおか第185号は、笠岡工業高等学校に表紙を作成していただいたため、感謝状と記念品を贈呈しました。
この度は、表紙を作成していただき大変ありがとうございました。



市議会かさおか第185号の表紙（左側）と
表紙をアクリル板へレーザー描写した記念品（右側）



市章入りのストラップを
アクリル板へレーザー加工している様子



check !

QRコードを読み取ると
表紙を見ることができます。



感謝状を持つ藤川先生（左側）と
記念品を持つ平尾先生（右側）

広報公聴委員会

委員長 天野 喜一郎
副委員長 齋藤 一信
委員 大本 邦光
大山 盛久
桑田 昌哲
仁科 文秀
山本 聡

編集の窓

現在、笠岡市では執行部・有識者・議会により、第8次笠岡市総合計画を策定中です。将来ビジョンとして、これまでの先人たちが築いてきた歴史、文化を次の世代の子供たちに自信をもって引き継ぐために、「対話」と「協調」と「連携」の下、笠岡市に暮らす皆様が夢を持ち、笑顔が広がり、暮らしてよかったと思えるまちづくりを目指します。